

中間貯蔵施設周辺復興地域の統合的な環境再生・環境創生に向けて

令和4年度から新たに開始された環境研究総合推進費・戦略的研究開発(II)「中間貯蔵施設周辺復興地域の統合的な環境再生・環境創生に向けた研究」(代表:国立環境研究所 遠藤和人)の構想を紹介するとともに、今まさに直面している帰還困難区域解除からいかに被災地復興に繋げていくか、関係するステークホルダーによる建設的な議論を行う。また、前段として、海外招聘講演として Catrinel Turcanu 氏から、IAEAにおける環境回復における合意形成フレームワークを検討する MAESTRI プロジェクトについてご紹介をいただき、日本の福島のを総括しつつ、後半の議論に繋げる。

1. 海外招聘講演(動画講演、日本語字幕付き予定)

「Sociotechnical frameworks and tools supporting decision-making for Environmental Remediation」

Catrinel Turcanu, Ph.D. (ベルギー原子力研究センター)

2. 環境研究総合推進費・戦略的研究開発(II)(S2-9)の紹介

遠藤和人(国立環境研究所)、他

3. 総合討論「帰還困難区域の今後の方向性について」

万福裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)、他